

2024年11月3日（主日礼拝 召天者記念礼拝）

■招詞 ヨハネの手紙一 4:9 「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。」

■礼拝の祈り

主イエス・キリストの父であり、わたしたちの父なる神よ、

<礼拝の招きへの感謝>

今日は特別に先にあなたのもとに召された信仰の友、家族を覚える礼拝をささげようと集まっています。この教会の今までの歩みの中で地上を去った信仰の先達たちのことを思います。多くの人々が信仰に生き、信仰の中で肉体の人生を終えました。復活を信じ、神のみもとに召されることに希望をい দিয়ে、です。それらの人々のひたすらな祈りと礼拝の歩みがあり、人知れない奉仕と伝道の労苦があったおかげで、この日この時があり、わたしたちが今ここで礼拝をささげることができることを思い、心から感謝します。この感謝はしかし、あなたにささげられるものです。信仰の先輩たちは、自分の身をささげることを決して誇らず、かえってとるにたらないものとしてみなしていました。常に創造主であり救い主であるあなたの前に立たされる思いで礼拝をし、祈っていたからです。どうか神よ、あなたの御許にいる信仰の先達に変わらず永遠に平安を与えてください。

今日は特別な礼拝でありながらしかし、いつもの礼拝と変わらない礼拝でもあります。すでに召された者たちも地上においてはこうして礼拝を続けていました。わたしたちもまたあなたに地上の働きの終わりをつげていただくまで、礼拝を続けようとしています。ここに教会の絶えない礼拝の歩みがあります。神よ、どうかあなたがここにいるすべてのものに礼拝を続ける信仰を与え、確かにしてください。召された先輩たちの信仰を受け継ぎ、同じ希望を見上げながら歩み続けることができますように。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

しかし同時に、教会のこれまでの歩みを思うと、どれほど多くの不信仰が行われ、愛の貧しさの罪を重ねてきたかを思わずにはいられません。教会のこの歩みもまた罪の歩みであったことを思われます。慰めを求めている人とともに歩むことができないことがありました。助けが必要な人に十分に差し出すことができませんでした。自分のことにかまけて人のために祈ることができませんでした。そのことを今御前に深く懺悔いたします。わたしたちは今ここに、悔い改めの祈りをともにし、あなたに赦されることを願って礼拝をおささげします。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

召された者を平安においてくださるあなたの前で、本当の謙遜と主に従う服従を今、深く学ばせてください。どうか、わたしたちを赦し、あなたが立ち上がらせてください。御言葉によって、この地上を歩む力を与えてください。あなたに赦されて歩む人生の終わりにはあなたに召されるという希望、終わりの日の希望を与えてください。

主イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

2024年11月3日（主日礼拝 召天者記念礼拝）

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<信仰の先達を覚えながら礼拝をおささげしました>

召天者記念礼拝として、先に召された信仰の先達を覚えつつ礼拝をおささげしました。あなたが、召された者を平安のうちにおいてくださると心から信じます。この恵みをわたしたちも感謝して受け取り、歩みを続けて参ります。いまだ、悲しみが癒えず、寂しい思いをしている者もおります。しかし、終わりの日の希望が与えられていることに委ねることができますよう、導いてください。

<教会の歩みを守り導いてください>

新しい月を歩み始めています。この月、そして来月12月は多くの教会行事が行われます。コンサート、伝道礼拝、バザー、アドベント、クリスマス。あなたがすべてを守り導き、教会の業として豊かに祝福して下さいますように。働くこと祈ること、それぞれふさわしい形でわたしたちをあなたのご用のためにお用いください。特に一連のオリーブ祭を祝福してください。あなたから豊かにいただいたものをわかちあいたいと願って行うチャリティコンサートです。わかちあうことも喜びです。コンサートを通してこの喜びをみんなで味わうことができますように。演奏者をあなたが特別に守りのうちにおいてください。

<心や体に重荷を負っている者、困難の中にいる者を救ってください>

心や体に重荷を負っている者を助けてください。病の癒やしが必要です。心のよりどころが必要です。先の不安があります。親しい者を失い寂しさがこみ上げます。どうか、このわたしたちの重荷を主イエスがすべて知っていてくださり、癒し助けてくださることにより頼むことができますように。わたしたちは自分自身のことすら自由にはできません。主にお委ねすることにまことの平安があることを知らせてください。そのような者ためにわたしたちが仕えることができますように。一人一人が教会が、御言葉をたずさえてかたわらによりそい、ともに歩み、祈ることができますよう、わたしたちをお用いください。

自然災害により、困難を覚えている人たちを助けてください。生活の苦しみ、先の不安、なにより親しい人を失った悲しみの中にいる人たちがおります。助けてください。できることは小さいかもしれませんが、わたしたちをあなたの御用のためにもちいて下さいますように。

やむどころがますます広がり、激しくなる戦争、戦闘に心を痛めています。なぜこのようなことが繰り返されるのか理解できないことがあります。しかし、またどこか他人事のような自分の無無関心にもきづきます。このようなことで、いつも犠牲になるのは弱い人たちです。どうかあなたが救ってください。あなたしか頼れる神はおられません。主がわたしたちに平和を作り出すものは幸いであるとおっしゃったことは重いことです。わたしたちをお用いください。

<祈ることができるのも恵みです>

祈ることを知らないわたしたちに主は祈りを教え、祈るようと招いて下さいます。ですから祈ることができるのもまた恵みです。今からは歩み始める一週間をも祈りの恵みうちに歩むことができることを感謝いたします。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。